

横浜市立釜利谷南小学校 平成 29 年度 体育・健康プラン

～体育・健康に関する指導の全体計画～

1 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標	
<p>○夢や希望や目標をもち、それに向かって努力を重ね、認め合い、語り合える学校にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎・基本の定着を図りながら、児童が友達とのコミュニケーションを大切にし、学習の楽しさを実感し、主体的に問題解決を進めていかれるような学習展開を図ります。 ・児童一人ひとりが自己肯定感・有用感をもち、楽しく学校生活を送りながら、夢や希望を語り合える学校にします。 ・学校中に挨拶や笑顔や歓声があふれ、豊かな心や、健やかな体を育成する学校にします。 ・家庭や地域の教育力を学校に取り込むことを通して、進んでまちとかかわり地域とともに生きる児童を育てます。 	

(2) 体育・健康に関する指導の重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野	取組目標	具体的取組
健やかな体	体を動かすことの習慣化を図り、一校一実践の取組を継続して行い、体力の向上を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・「縄跳び集会」では、クラスで記録を伸ばす取り組みをする。 ・「ジョギング週間」ではカードを作成し、5分間走に取り組む。 ・通年で「姿勢体操」に全校で取り組む。 ・休み時間を利用した体力作り（ドッジボール大会・体育館パスポート等）を行う。
担当	体育部	

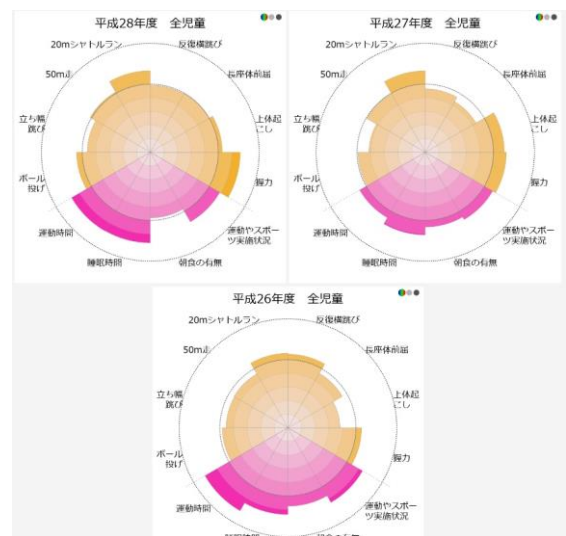
2 体育健康に関する実態把握

(1) 体育・健康に関する実態

- ・休み時間、校庭で元気よく遊ぶ児童が多いが、教室の中で過ごす児童もいる。また、地域のスポーツチームに所属している児童と、所属していない児童とで、普段からの運動時間の差が大きい。
- ・睡眠時間が8時間以上の児童が多いなど生活リズムは市の平均よりもよい値である。
- ・自分の気持ちを上手に表現できずに友達と仲良くかかわれない場面がある。

(2) 体力の概要と要因の分析 (小学校は全校配付の体力・運動能力調査分析チャートを活用)

新体力テストの結果では、昨年度、課題であった柔軟性が長座体前屈の結果から改善したことがわかる。毎週、朝会の前に行った姿勢体操の効果が表れたといえる。また、平成26年度、27年度、28年度と年をおうごとに、市の平均を下回っている項目が少なくなっている。



3 体育・健康に関する具体的取組

教科

《体育科・保健体育科での取組》

- ・子供たちの運動への関心・意欲を高める。
- ・子供の思考を重視し、自ら学ぶ力を高める。
- ・仲間とかかわる場を設定し、互いに学び合う力をたかめる。

《他教科での取組》

- ・養護教諭・栄養士と連携して、保健授業を行い、健康教育の充実を図る

道徳・特活・総合

- ・運動会では、体育科で培った資質能力を生かし、発揮できる場とする。
- ・学校保健委員会では、体の健康と、健全な精神とはかかわりがあることを、体験的に理解していくことをめざす。
- ・保健委員会と運動委員会を統合し、学校保健委員会でねらっているところを、学校保健委員会以外のところでも日々の常時活動などでも行えるようにしていく。

課外活動

- ・区の球技大会にむけての特別朝練習では、釜利谷中学校のサッカー部に小学生と一緒に朝練習に参加してもらうことにより中学校との連携を図りながら、より高いレベルのプレーを間近で見て感じたり、指導をしてもらったりする。
- ・保健学習では、校医の歯科衛生士による歯についての学習や、薬剤師による薬物乱用防止教室などを行う。

平成29年度 釜利谷南小学校 体力向上1校1実践運動

《名称》 体育行事の充実

《ねらい》 子どもたちが体を動かすことの楽しさや心地よさを味わうとともに、その必要性を認識することで運動好きになり、積極的に運動に取り組めるようにする。

《内容》

- ・姿勢体操 毎週月曜日、朝会の前に、全校児童で音楽に合わせてストレッチを行う。これにより、柔軟性を高めていく。
- ・ジョギング週間 11月中旬に2週間、朝の時間に自分のペースで5分間走をする。これにより、持久走を高めていく。
- ・全校なわとび集会 1月下旬から2月上旬にかけて、休み時間、クラスごとになわとびに取り組む。クラス全員の8字とびや短縄リレー、8人跳び、個人の発表などの集会を行う。これにより持久力と巧緻性を高めていく。

- 指 標： ①行事後に、取り組み前から後にかけての、児童やクラスの達成感を教師がみとりふりかえる。
- ②体力テストの結果、生活実態調査「運動やスポーツの実施状況」「1日の運動スポーツの実施時間」から検証する。

＜参考＞ 学習指導要領総則 「学校における体育・健康に関する指導は、児童（生徒）の発達段階を考慮して、学校の教育活動全体を通じて適切に行うものとする。」